

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年		4 学年次	平均
学 期		前学期	
科 目 名		看護管理論	
受 講 者		99名	
回 答 数		24名	
回 答 率		24. 2%	
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	4. 29	4. 29
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4. 25	4. 25
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	4. 38	4. 38
4	提供された資料などは適切だった。	4. 25	4. 25
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	4. 13	4. 13
6	授業は分かりやすかった。	4. 00	4. 00
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	4. 42	4. 42
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	4. 46	4. 46
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4. 33	4. 33
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	3. 96	3. 96
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	4. 08	4. 08
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4. 29	4. 29
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4. 17	4. 17
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4. 13	4. 13
15	論理的に考えられるようになった。	4. 17	4. 17
16	問題発見・解決能力が得られた。	4. 25	4. 25

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年		3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	平均
学 期		前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	
科 目 名		治療・回復過程援助論Ⅱ	療養生活支援論Ⅱ	クリティカルケア論	ターミナルケア論	老年看護学援助論	精神看護学援助論	地域看護学援助論	看護研究方法論	
受 講 者		98名	98名	98名	98名	98名	98名	98名	98名	
回 答 数		48名	78名	11名	48名	75名	47名	75名	56名	
回 答 率		49. 0%	79. 6%	11. 2%	49. 0%	76. 5%	48. 0%	76. 5%	57. 1%	
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	4. 27	4. 13	4. 09	4. 19	4. 39	4. 30	4. 25	4. 16	4. 22
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4. 29	4. 22	4. 27	4. 27	4. 36	4. 32	4. 31	4. 16	4. 27
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	4. 46	4. 29	4. 27	4. 29	4. 43	4. 43	4. 29	4. 23	4. 34
4	提供された資料などは適切だった。	4. 42	4. 28	4. 45	3. 92	4. 29	4. 40	4. 24	4. 14	4. 27
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	4. 23	4. 36	4. 18	4. 00	4. 33	4. 40	4. 15	3. 91	4. 20
6	授業は分かりやすかった。	4. 35	4. 29	4. 27	4. 10	4. 36	4. 40	4. 24	4. 13	4. 27
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	4. 33	4. 35	4. 36	3. 90	4. 39	4. 40	4. 27	4. 16	4. 27
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	4. 35	4. 33	4. 27	4. 29	4. 32	4. 38	4. 28	4. 34	4. 32
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4. 40	4. 36	4. 00	4. 25	4. 35	4. 36	4. 27	4. 13	4. 26
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	4. 31	4. 23	4. 09	4. 02	4. 39	4. 26	4. 20	4. 04	4. 19
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	4. 35	4. 17	4. 00	4. 02	4. 23	4. 38	4. 17	4. 20	4. 19
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4. 31	4. 32	4. 27	4. 19	4. 36	4. 60	4. 23	4. 29	4. 32
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4. 29	4. 28	4. 18	4. 10	4. 28	4. 45	4. 19	4. 09	4. 23
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4. 31	4. 38	4. 18	4. 10	4. 33	4. 38	4. 20	4. 11	4. 25
15	論理的に考えられるようになった。	4. 38	4. 13	4. 18	4. 02	4. 17	4. 26	4. 12	4. 02	4. 16
16	問題発見・解決能力が得られた。	4. 29	4. 19	4. 27	4. 02	4. 27	4. 28	4. 17	4. 13	4. 20
		69. 35	68. 32	67. 36	65. 69	69. 24	70. 00	67. 57	66. 21	67. 97

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年		2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	平均
学 期		前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	前学期	
科 目 名		薬理学	病態 治療学Ⅰ	病態 治療学Ⅱ	疫学	基礎看護技 術Ⅱ	感染看護学 Ⅱ	看護過程論	母性 看護学Ⅰ	小児 看護学Ⅰ	老年 看護学Ⅰ	家族看護学	
受 講 者		105名	106名	105名	105名	106名	105名	106名	104名	104名	105名	105名	
回 答 数		30名	19名	6名	4名	10名	7名	39名	25名	35名	57名	19名	
回 答 率		28.6%	17.9%	5.7%	3.8%	9.4%	6.7%	36.8%	24.0%	33.7%	54.3%	18.1%	
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める 上で役に立った。	4.60	4.05	4.50	4.50	4.30	4.29	4.44	4.40	4.14	4.46	4.47	4.38
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4.60	4.05	4.50	4.50	4.20	4.43	4.49	4.44	3.97	4.33	4.42	4.36
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との 関連は理解できた。	4.57	4.32	4.33	4.50	4.50	4.43	4.74	4.44	4.14	4.32	4.68	4.45
4	提供された資料などは適切だった。	4.63	4.21	4.50	4.50	4.40	4.43	4.54	4.36	4.06	4.28	4.37	4.39
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされ ていた。	4.50	3.89	4.50	4.50	4.40	4.29	4.31	4.48	3.77	4.00	4.32	4.27
6	授業は分かりやすかった。	4.63	3.89	4.50	4.50	4.50	4.29	4.46	4.48	3.89	4.11	4.42	4.33
7	パワーポイント、板書やスライドは見や すかった。	4.67	4.11	4.50	4.50	4.60	4.43	4.51	4.52	3.80	4.25	4.47	4.40
8	成績の評価基準についてシラバスに明確 にされていた。	4.63	4.16	4.50	4.50	4.60	4.14	4.49	4.40	3.86	4.32	4.53	4.38
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的 に学ぼうとした。	4.63	4.00	4.67	4.50	4.70	4.43	4.56	4.32	4.17	4.16	4.58	4.43
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手 などに自主的に取り組んだ。	4.27	3.84	4.50	4.50	4.60	4.43	4.51	4.20	3.86	3.95	4.11	4.25
11	自己学習や課題には計画的に取り組むこ とができた。	4.17	3.68	4.50	4.50	4.50	4.29	4.33	4.08	3.89	3.79	4.05	4.16
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4.43	3.89	4.50	4.50	4.60	4.29	4.62	4.36	4.06	4.18	4.42	4.35
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4.47	3.95	4.50	4.50	4.50	4.29	4.44	4.48	3.80	4.11	4.47	4.32
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4.47	4.00	4.33	4.50	4.40	4.29	4.51	4.40	4.00	4.12	4.32	4.30
15	論理的に考えられるようになった。	4.33	3.79	4.50	4.50	4.50	4.29	4.54	4.32	3.83	3.95	4.32	4.26
16	問題発見・解決能力が得られた。	4.37	3.84	4.50	4.50	4.50	4.29	4.51	4.16	3.86	3.98	4.47	4.27
		71.97	63.67	71.83	72.00	71.80	69.33	72.00	69.84	63.09	66.31	70.42	69.30

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年		4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	平均
学 期		後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名		災害看護学	看護総合	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	
受 講 者		97名	97名	10名	19名	10名	6名	6名	4名	7名	9名	10名	4名	
回 答 数		14名	97名	1名	4名	3名	2名	2名	1名	3名	8名	3名	1名	
回 答 率		14. 4%	100. 0%	10. 0%	21. 1%	30. 0%	33. 3%	33. 3%	25. 0%	42. 9%	88. 9%	30. 0%	25. 0%	
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	4. 14	4. 25	4. 00	4. 50	4. 33	4. 50	4. 50	5. 00	4. 67	4. 13	4. 33	4. 00	4. 36
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4. 21	4. 30	4. 00	4. 75	4. 33	4. 50	4. 50	5. 00	4. 67	4. 38	5. 00	5. 00	4. 55
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	4. 21	4. 30	4. 00	4. 75	4. 33	5. 00	4. 00	5. 00	4. 33	4. 25	4. 33	4. 00	4. 38
4	提供された資料などは適切だった。	4. 36	4. 19	4. 00	4. 75	4. 33	5. 00	5. 00	5. 00	4. 33	4. 25	5. 00	5. 00	4. 60
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	4. 43	4. 15	4. 00	4. 75	4. 33	4. 50	5. 00	5. 00	4. 33	4. 25	4. 33	5. 00	4. 51
6	授業は分かりやすかった。	4. 36	4. 25	4. 00	4. 75	4. 33	5. 00	5. 00	5. 00	4. 67	4. 63	5. 00	5. 00	4. 66
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	4. 14	4. 23	4. 00	4. 50	4. 00	4. 50	4. 50	3. 00	4. 67	4. 25	4. 67	5. 00	4. 29
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	3. 50	4. 29	4. 00	4. 75	4. 00	4. 50	5. 00	5. 00	4. 67	4. 38	4. 67	5. 00	4. 48
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4. 43	4. 43	5. 00	4. 75	4. 67	4. 50	5. 00	4. 00	4. 00	4. 63	4. 33	5. 00	4. 56
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	4. 43	4. 34	5. 00	4. 75	4. 67	4. 50	4. 50	4. 00	5. 00	4. 75	4. 33	5. 00	4. 61
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	4. 71	4. 33	5. 00	4. 75	4. 00	4. 50	4. 00	2. 00	4. 67	4. 38	4. 00	5. 00	4. 28
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4. 79	4. 40	4. 00	4. 75	4. 67	5. 00	5. 00	5. 00	5. 00	4. 88	5. 00	5. 00	4. 79
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4. 43	4. 27	4. 00	4. 50	4. 00	4. 50	5. 00	5. 00	4. 67	4. 38	4. 67	5. 00	4. 53
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4. 64	4. 25	4. 00	4. 50	5. 00	4. 00	5. 00	5. 00	5. 00	4. 63	4. 33	5. 00	4. 61
15	論理的に考えられるようになった。	4. 29	4. 10	4. 00	4. 50	4. 33	4. 50	4. 50	5. 00	4. 00	4. 63	4. 67	5. 00	4. 46
16	問題発見・解決能力が得られた。	4. 43	4. 31	4. 00	4. 75	4. 33	4. 50	5. 00	4. 00	4. 33	4. 25	5. 00	5. 00	4. 49
		69. 50	68. 38	67. 00	74. 75	69. 67	73. 50	75. 50	72. 00	73. 00	71. 00	73. 67	78. 00	72. 16

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年		3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	平均
学 期		後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名		保健指導論	母性看護学 援助論	小児看護学 援助論	在宅看護学 援助論	卒業研究 I	卒業研究 I	卒業研究 I	卒業研究 I	卒業研究 I	卒業研究 I	卒業研究 I	卒業研究 I	卒業研究 I	卒業研究 I	卒業研究 I	
受 講 者		15名	99名	99名	98名	10名	14名	8名	7名	6名	4名	8名	12名	5名	8名	8名	
回 答 数		15名	45名	28名	35名	2名	8名	3名	7名	1名	3名	1名	7名	4名	5名	2名	
回 答 率		100. 0%	45. 5%	28. 3%	35. 7%	20. 0%	57. 1%	37. 5%	100. 0%	16. 7%	75. 0%	12. 5%	58. 3%	80. 0%	62. 5%	25. 0%	
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める 上で役に立った。	4. 53	4. 31	4. 04	4. 03	5. 00	4. 63	4. 33	4. 71	5. 00	3. 33	5. 00	4. 43	4. 50	4. 80	4. 50	4. 48
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4. 53	4. 27	4. 00	4. 09	5. 00	4. 50	4. 33	4. 71	5. 00	4. 00	5. 00	3. 86	4. 75	4. 80	4. 50	4. 49
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との 関連は理解できた。	4. 47	4. 36	4. 11	4. 14	5. 00	4. 63	4. 33	5. 00	4. 00	4. 33	5. 00	4. 43	4. 25	4. 80	4. 50	4. 49
4	提供された資料などは適切だった。	4. 67	4. 36	3. 86	3. 83	4. 50	4. 75	5. 00	5. 00	5. 00	4. 67	5. 00	4. 29	4. 25	5. 00	4. 50	4. 58
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされ ていた。	4. 53	4. 38	3. 96	4. 03	4. 00	4. 75	5. 00	4. 86	4. 00	3. 67	5. 00	4. 14	4. 50	4. 60	4. 50	4. 39
6	授業は分かりやすかった。	4. 53	4. 53	4. 07	3. 97	4. 00	4. 38	4. 33	4. 71	5. 00	4. 67	5. 00	4. 00	4. 75	4. 80	4. 50	4. 48
7	パワーポイント、板書やスライドは見や すかった。	4. 60	4. 38	4. 00	3. 86	4. 50	3. 88	4. 33	4. 71	5. 00	3. 67	5. 00	4. 14	4. 50	4. 80	4. 50	4. 39
8	成績の評価基準についてシラバスに明確 にされていた。	4. 67	4. 38	4. 29	4. 17	4. 50	4. 63	4. 33	4. 86	4. 00	4. 33	5. 00	4. 29	4. 50	4. 80	4. 50	4. 48
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的 に学ぼうとした。	4. 60	4. 47	4. 29	4. 26	5. 00	4. 63	4. 33	4. 86	4. 00	5. 00	5. 00	4. 14	4. 75	5. 00	4. 50	4. 59
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手 などに自主的に取り組んだ。	4. 53	4. 40	4. 21	4. 34	4. 50	4. 63	4. 00	4. 71	3. 00	4. 67	5. 00	4. 29	4. 75	5. 00	4. 50	4. 44
11	自己学習や課題には計画的に取り組むこ とができた。	4. 60	4. 29	4. 29	4. 29	4. 50	4. 25	4. 00	4. 57	3. 00	4. 33	5. 00	4. 29	4. 50	4. 80	4. 50	4. 35
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4. 60	4. 40	4. 18	4. 29	5. 00	4. 63	4. 67	5. 00	5. 00	5. 00	5. 00	4. 57	4. 75	5. 00	4. 50	4. 71
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4. 67	4. 33	4. 04	4. 11	4. 50	4. 25	4. 33	4. 86	5. 00	4. 67	5. 00	4. 14	4. 75	4. 80	4. 50	4. 53
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4. 67	4. 47	4. 21	4. 14	5. 00	4. 75	4. 67	5. 00	5. 00	4. 67	5. 00	4. 29	4. 75	4. 80	4. 50	4. 66
15	論理的に考えられるようになった。	4. 53	4. 22	4. 07	4. 11	5. 00	4. 38	4. 67	4. 86	4. 00	4. 33	5. 00	4. 43	4. 25	4. 60	4. 00	4. 43
16	問題発見・解決能力が得られた。	4. 60	4. 29	4. 07	4. 11	5. 00	4. 50	4. 33	5. 00	4. 00	4. 33	5. 00	4. 43	4. 25	4. 80	4. 00	4. 45
		73. 33	69. 82	65. 68	65. 77	75. 00	72. 13	71. 00	77. 43	70. 00	69. 67	80. 00	68. 14	72. 75	77. 20	71. 00	71. 93

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年		2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	平均
学 期		後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名		病態 治療学Ⅲ	保健医療福 祉行政論Ⅰ	公衆衛生 看護学Ⅰ	学校看護学	産業看護学	母性 看護学Ⅱ	小児 看護学Ⅱ	老年 看護学Ⅱ	成人 看護学Ⅰ	精神 看護学Ⅰ	
受 講 者		103名	103名	101名	30名	98名	104名	103名	103名	102名	104名	
回 答 数		26名	22名	23名	9名	30名	37名	7名	57名	10名	22名	
回 答 率		25. 2%	21. 4%	22. 8%	30. 0%	30. 6%	35. 6%	6. 8%	55. 3%	9. 8%	21. 2%	
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める 上で役に立った。	4. 15	3. 05	3. 96	4. 44	4. 30	4. 38	4. 14	4. 00	4. 10	4. 32	4. 08
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4. 31	3. 05	4. 04	4. 44	4. 37	4. 41	4. 29	4. 09	3. 90	4. 36	4. 13
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との 関連は理解できた。	4. 38	2. 86	4. 04	4. 56	4. 33	4. 51	4. 29	4. 25	3. 90	4. 55	4. 17
4	提供された資料などは適切だった。	4. 35	2. 68	4. 13	4. 56	4. 37	4. 54	4. 29	4. 25	3. 90	4. 50	4. 16
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされ ていた。	4. 23	2. 82	3. 83	4. 44	4. 40	4. 57	4. 43	4. 25	3. 60	4. 55	4. 11
6	授業は分かりやすかった。	4. 23	2. 45	3. 87	4. 44	4. 43	4. 62	4. 14	4. 26	3. 90	4. 41	4. 08
7	パワーポイント、板書やスライドは見や すかった。	4. 31	2. 36	3. 87	4. 56	4. 43	4. 49	4. 29	4. 21	3. 90	4. 59	4. 10
8	成績の評価基準についてシラバスに明確 にされていた。	4. 46	3. 09	4. 17	4. 44	4. 47	4. 43	4. 43	4. 23	4. 00	4. 45	4. 22
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的 に学ぼうとした。	4. 04	3. 55	3. 96	4. 22	4. 27	4. 35	4. 29	4. 18	3. 90	4. 32	4. 11
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手 などに自主的に取り組んだ。	3. 85	3. 14	3. 70	4. 22	3. 97	3. 97	4. 14	4. 09	3. 30	4. 00	3. 84
11	自己学習や課題には計画的に取り組むこ とができた。	3. 88	3. 05	3. 78	4. 11	3. 87	4. 05	4. 29	3. 91	3. 60	3. 86	3. 84
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4. 08	3. 00	3. 87	4. 56	4. 27	4. 16	4. 29	4. 16	3. 50	4. 45	4. 03
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4. 23	2. 77	3. 83	4. 56	4. 37	4. 30	4. 29	4. 11	3. 60	4. 55	4. 06
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4. 15	2. 82	3. 83	4. 56	4. 37	4. 30	4. 29	4. 14	3. 70	4. 45	4. 06
15	論理的に考えられるようになった。	4. 04	2. 91	3. 57	4. 33	4. 07	4. 14	4. 29	3. 98	3. 70	4. 45	3. 95
16	問題発見・解決能力が得られた。	3. 96	2. 68	3. 70	4. 56	4. 10	4. 08	4. 29	3. 98	3. 70	4. 32	3. 94
		66. 65	46. 27	62. 13	71. 00	68. 37	69. 30	68. 43	66. 07	60. 20	70. 14	64. 86

授業評価アンケート結果(講義・演習科目)

学 年		1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	1 学年次	平均
学 期		後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名		英語Ⅱ	教育学	音楽	統計学	情報科学Ⅱ	形態機能学Ⅱ	生化学	感染・免疫学	病理学	公衆衛生学	看護学原論Ⅱ	看護倫理	ヘルスアセスメント	基礎看護技術Ⅰ	感染看護学Ⅰ	生涯発達論	
受 講 者		105名	53名	50名	102名	103名	103名	102名	102名	104名	104名	103名	104名	103名	103名	103名	103名	
回 答 数		14名	10名	40名	15名	60名	12名	35名	43名	88名	40名	41名	44名	44名	22名	73名	59名	
回 答 率		13. 3%	18. 9%	80. 0%	14. 7%	58. 3%	11. 7%	34. 3%	42. 2%	84. 6%	38. 5%	39. 8%	42. 3%	42. 7%	21. 4%	70. 9%	57. 3%	
1	シラバスの内容は、自分の学習を進める上で役に立った。	4. 36	4. 50	4. 43	4. 07	3. 90	4. 25	3. 57	3. 93	4. 26	4. 28	4. 49	4. 39	4. 39	4. 50	4. 36	4. 22	4. 24
2	シラバスの内容が充分満たされていた。	4. 36	4. 50	4. 40	4. 13	3. 95	4. 33	3. 51	3. 86	4. 26	4. 30	4. 46	4. 39	4. 43	4. 64	4. 37	4. 34	4. 26
3	カリキュラムの位置づけや、他教科との関連は理解できた。	4. 21	4. 50	4. 45	3. 73	3. 97	4. 58	3. 43	3. 98	4. 32	4. 30	4. 51	4. 36	4. 59	4. 73	4. 49	4. 15	4. 27
4	提供された資料などは適切だった。	4. 36	4. 50	4. 60	4. 13	4. 12	4. 67	3. 26	3. 56	4. 28	4. 33	4. 51	4. 45	4. 48	4. 68	4. 55	4. 14	4. 29
5	授業に興味をそそる内容がアレンジされていた。	3. 86	4. 30	4. 48	4. 00	3. 78	4. 50	3. 00	3. 63	4. 27	4. 18	4. 49	4. 34	4. 52	4. 59	4. 38	4. 03	4. 15
6	授業は分かりやすかった。	4. 21	4. 50	4. 55	4. 00	3. 77	4. 58	2. 83	3. 42	4. 18	4. 25	4. 54	4. 36	4. 59	4. 55	4. 47	4. 07	4. 18
7	パワーポイント、板書やスライドは見やすかった。	4. 29	4. 30	4. 48	4. 27	3. 82	4. 58	3. 03	3. 56	4. 14	4. 38	4. 59	4. 41	4. 41	4. 59	4. 48	4. 19	4. 22
8	成績の評価基準についてシラバスに明確にされていた。	4. 36	4. 40	4. 43	4. 40	3. 98	4. 33	3. 74	4. 09	4. 31	4. 28	4. 54	4. 45	4. 45	4. 41	4. 41	4. 31	4. 31
9	授業には真面目な態度で参加し、意欲的に学ぼうとした。	4. 29	4. 40	4. 50	4. 33	4. 17	4. 25	3. 89	4. 12	4. 31	4. 25	4. 39	4. 32	4. 52	4. 64	4. 51	4. 24	4. 32
10	授業の予習・復習・関連する情報の入手などに自主的に取り組んだ。	4. 21	4. 50	4. 40	4. 47	4. 18	4. 08	3. 83	4. 00	4. 11	4. 23	4. 46	4. 41	4. 50	4. 64	4. 33	4. 10	4. 28
11	自己学習や課題には計画的に取り組むことができた。	4. 29	4. 30	4. 38	4. 33	4. 20	4. 08	3. 60	3. 93	4. 11	4. 23	4. 41	4. 39	4. 55	4. 59	4. 41	4. 20	4. 25
12	自分なりに考えるきっかけがもてた。	4. 00	4. 30	4. 48	4. 13	3. 95	4. 50	3. 43	3. 77	4. 17	4. 35	4. 56	4. 50	4. 55	4. 59	4. 37	4. 24	4. 24
13	授業内容に魅力や関心がもてた。	4. 07	4. 40	4. 53	3. 93	3. 95	4. 50	3. 26	3. 67	4. 30	4. 28	4. 56	4. 45	4. 50	4. 59	4. 48	4. 14	4. 23
14	新しい知識や好奇心が得られた。	4. 36	4. 50	4. 65	4. 33	4. 00	4. 42	3. 51	3. 77	4. 35	4. 28	4. 63	4. 55	4. 55	4. 64	4. 52	4. 15	4. 33
15	論理的に考えられるようになった。	3. 86	4. 20	4. 25	3. 93	3. 72	4. 33	3. 17	3. 67	4. 11	4. 05	4. 54	4. 30	4. 32	4. 59	4. 32	3. 95	4. 08
16	問題発見・解決能力が得られた。	3. 86	4. 20	4. 23	3. 80	3. 93	4. 17	3. 29	3. 72	4. 09	4. 05	4. 41	4. 25	4. 32	4. 64	4. 37	4. 08	4. 09
		66. 93	70. 30	71. 20	66. 00	63. 38	70. 17	54. 34	60. 67	67. 58	67. 98	72. 10	70. 32	71. 66	73. 59	70. 81	66. 54	67. 72

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			4 学年次	4 学年次	4 学年次	平均
学 期			前学期	前学期	前学期	
科 目 名			母性看護学 実習	小児看護学 実習	在宅看護学 実習	
受 講 者			98名	98名	99名	
回 答 数			26名	17名	11名	
回 答 率			26. 5%	17. 3%	11. 1%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4. 77	4. 59	4. 91	4. 76
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4. 58	4. 59	4. 45	4. 54
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4. 65	4. 76	4. 82	4. 75
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4. 81	4. 76	4. 91	4. 83
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4. 88	4. 82	4. 82	4. 84
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4. 69	4. 24	4. 73	4. 55
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4. 58	4. 47	4. 73	4. 59
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4. 54	4. 47	4. 27	4. 43
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4. 77	4. 35	4. 82	4. 65
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4. 62	4. 24	4. 73	4. 53
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4. 62	4. 35	5. 00	4. 66
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4. 77	4. 29	4. 55	4. 54
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4. 73	4. 18	4. 64	4. 51
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4. 58	4. 12	4. 73	4. 47
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4. 73	4. 41	4. 73	4. 62
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4. 73	4. 29	4. 64	4. 55
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4. 54	3. 65	4. 55	4. 24
	18	実習は有意義であった。	4. 81	4. 29	4. 64	4. 58
			84. 38	78. 88	84. 64	82. 63

Ⅱ この実習を通して得たもの

新しい知識	23. 00%	15. 00%	10. 00%	16. 00%
知的好奇心(関心)	21. 00%	9. 00%	7. 00%	12. 33%
物事を見る視野	18. 00%	15. 00%	10. 00%	14. 33%
課題発見・解決能力	17. 00%	12. 00%	7. 00%	12. 00%
論理的思考能力	10. 00%	9. 00%	5. 00%	8. 00%
記述・表現・プレゼンテーション能力	8. 00%	6. 00%	5. 00%	6. 33%
教員や学生との交流	14. 00%	8. 00%	7. 00%	9. 67%
看護の実践能力	12. 00%	6. 00%	6. 00%	8. 00%
医療者・専門職者としての態度	14. 00%	10. 00%	10. 00%	11. 33%
看護倫理に基づいた行動	14. 00%	11. 00%	8. 00%	11. 00%
その他	0. 00%	0. 00%	0. 00%	0. 00%

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			3 学年次	平均
学 期			前学期	
科 目 名			老年看護学 実習 I	
受 講 者			98名	
回 答 数			93名	
回 答 率			94. 9%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4. 84	4. 84
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4. 67	4. 67
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4. 72	4. 72
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4. 78	4. 78
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4. 70	4. 70
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4. 60	4. 60
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4. 59	4. 59
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4. 54	4. 54
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4. 65	4. 65
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4. 52	4. 52
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4. 60	4. 60
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4. 45	4. 45
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4. 59	4. 59
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4. 62	4. 62
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4. 66	4. 66
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4. 55	4. 55
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4. 51	4. 51
	18	実習は有意義であった。	4. 74	4. 74
			83. 32	83. 32

Ⅱ この実習を通して得たもの

新しい知識	89. 25%	89. 25%
知的好奇心(関心)	69. 89%	69. 89%
物事を見る視野	77. 42%	77. 42%
課題発見・解決能力	55. 91%	55. 91%
論理的思考能力	33. 33%	33. 33%
記述・表現・プレゼンテーション能力	31. 18%	31. 18%
教員や学生との交流	72. 04%	72. 04%
看護の実践能力	22. 58%	22. 58%
医療者・専門職者としての態度	53. 76%	53. 76%
看護倫理に基づいた行動	58. 06%	58. 06%
その他	0. 00%	0. 00%

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			2 学年次	2 学年次	平均
学 期			前学期	前学期	
科 目 名			基礎看護学 実習Ⅱ	形態機能学 実習	
受 講 者			105名	105名	
回 答 数			26名	44名	
回 答 率			24. 8%	41. 9%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4. 81	4. 64	4. 72
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4. 65	4. 61	4. 63
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4. 77	4. 61	4. 69
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4. 65	4. 75	4. 70
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4. 73	4. 70	4. 72
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4. 46	4. 52	4. 49
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4. 46	4. 50	4. 48
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4. 27	4. 43	4. 35
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4. 77	4. 70	4. 74
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4. 50	4. 57	4. 53
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4. 46	4. 52	4. 49
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4. 58	4. 64	4. 61
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4. 81	4. 61	4. 71
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4. 73	4. 64	4. 68
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4. 65	4. 66	4. 66
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4. 65	4. 48	4. 57
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	3. 92	4. 30	4. 11
	18	実習は有意義であった。	4. 69	4. 59	4. 64
			82. 58	82. 48	82. 53

Ⅱ この実習を通して得たもの

新しい知識	21. 00%	86. 36%	53. 68%
知的好奇心(関心)	17. 00%	72. 73%	44. 86%
物事を見る視野	21. 00%	56. 82%	38. 91%
課題発見・解決能力	18. 00%	27. 27%	22. 64%
論理的思考能力	15. 00%	31. 82%	23. 41%
記述・表現・プレゼンテーション能力	12. 00%	18. 18%	15. 09%
教員や学生との交流	18. 00%	25. 00%	21. 50%
看護の実践能力	19. 00%	40. 91%	29. 95%
医療者・専門職者としての態度	11. 00%	47. 73%	29. 36%
看護倫理に基づいた行動	13. 00%	59. 09%	36. 05%
その他	1. 00%	0. 00%	0. 50%

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			1 学年次	平均
学 期			前学期	
科 目 名			ヒューマニ ティ実習	
受 講 者			103名	
回 答 数			88名	
回 答 率			85.4%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4.92	4.92
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4.82	4.82
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4.78	4.78
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4.84	4.84
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4.65	4.65
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4.49	4.49
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4.56	4.56
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4.14	4.14
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4.77	4.77
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4.53	4.53
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4.65	4.65
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4.55	4.55
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4.66	4.66
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4.65	4.65
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4.72	4.72
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4.70	4.70
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4.23	4.23
	18	実習は有意義であった。	4.76	4.76
			83.41	83.41

Ⅱ この実習を通して得たもの

新しい知識	81.82%	81.82%
知的好奇心(関心)	81.82%	81.82%
物事を見る視野	72.73%	72.73%
課題発見・解決能力	60.23%	60.23%
論理的思考能力	31.82%	31.82%
記述・表現・プレゼンテーション能力	52.27%	52.27%
教員や学生との交流	68.18%	68.18%
看護の実践能力	48.86%	48.86%
医療者・専門職者としての態度	69.32%	69.32%
看護倫理に基づいた行動	64.77%	64.77%
その他	0.00%	0.00%

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	4 学年次	平均
学 期			後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名			公衆衛生 看護実習	総合看護実習 (基礎)	総合看護実習 (治療・回復)	総合看護実習 (療養)	総合看護実習 (小児)	総合看護実習 (精神)	総合看護実習 (感染)	
受 講 者			15名	41名	24名	12名	5名	5名	10名	
回 答 数			13名	17名	13名	11名	2名	1名	1名	
回 答 率			86. 7%	41. 5%	54. 2%	91. 7%	40. 0%	20. 0%	10. 0%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4. 92	4. 65	4. 92	4. 82	5. 00	5. 00	5. 00	4. 90
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4. 85	4. 65	4. 54	4. 82	5. 00	5. 00	5. 00	4. 84
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4. 69	4. 71	4. 85	4. 73	5. 00	5. 00	5. 00	4. 85
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4. 92	4. 71	5. 00	5. 00	5. 00	5. 00	5. 00	4. 95
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4. 85	4. 76	4. 69	5. 00	5. 00	5. 00	5. 00	4. 90
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4. 69	4. 35	4. 31	4. 73	5. 00	4. 00	5. 00	4. 58
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4. 77	4. 59	4. 46	4. 82	5. 00	4. 00	5. 00	4. 66
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4. 54	4. 00	4. 15	4. 64	4. 50	3. 00	4. 00	4. 12
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4. 62	4. 76	4. 92	4. 91	4. 50	5. 00	4. 00	4. 67
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4. 54	4. 53	4. 77	4. 91	5. 00	5. 00	5. 00	4. 82
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4. 92	4. 59	4. 85	5. 00	5. 00	5. 00	5. 00	4. 91
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4. 69	4. 71	4. 69	4. 91	4. 50	3. 00	5. 00	4. 50
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4. 85	4. 76	4. 92	4. 91	4. 00	4. 00	1. 00	4. 06
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4. 62	4. 71	4. 77	4. 91	3. 50	5. 00	2. 00	4. 21
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4. 69	4. 65	4. 54	4. 82	5. 00	5. 00	4. 00	4. 67
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4. 69	4. 65	4. 75	4. 91	5. 00	5. 00	4. 00	4. 71
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4. 46	4. 76	4. 77	5. 00	5. 00	5. 00	4. 00	4. 71
	18	実習は有意義であった。	4. 62	4. 76	4. 77	4. 91	5. 00	5. 00	4. 00	4. 72
			84. 92	83. 29	84. 67	87. 73	86. 00	83. 00	77. 00	83. 80

Ⅱ この実習を通して得たもの

新しい知識	100. 00%	94. 12%	61. 54%	81. 82%	100. 00%	0. 00%	100. 00%	76. 78%
知的好奇心(関心)	92. 31%	52. 94%	38. 46%	54. 55%	100. 00%	0. 00%	0. 00%	48. 32%
物事を見る視野	100. 00%	88. 24%	61. 54%	54. 55%	100. 00%	0. 00%	0. 00%	57. 76%
課題発見・解決能力	84. 62%	64. 71%	61. 54%	54. 55%	100. 00%	0. 00%	200. 00%	80. 77%
論理的思考能力	61. 54%	64. 71%	38. 46%	36. 36%	100. 00%	0. 00%	0. 00%	43. 01%
記述・表現・プレゼンテーション能力	84. 62%	47. 06%	15. 38%	36. 36%	100. 00%	0. 00%	100. 00%	54. 77%
教員や学生との交流	84. 62%	94. 12%	53. 85%	45. 45%	100. 00%	0. 00%	100. 00%	68. 29%
看護の実践能力	46. 15%	88. 24%	61. 54%	54. 55%	100. 00%	0. 00%	100. 00%	64. 35%
医療者・専門職者としての態度	92. 31%	82. 35%	84. 62%	36. 36%	100. 00%	0. 00%	100. 00%	70. 81%
看護倫理に基づいた行動	92. 31%	94. 12%	61. 54%	36. 36%	100. 00%	0. 00%	100. 00%	69. 19%
その他	7. 69%	0. 00%	0. 00%	9. 09%	0. 00%	0. 00%	0. 00%	2. 40%

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			3 学年次	3 学年次	3 学年次	3 学年次	平均
学 期			後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名			治療・回復過程援助実習	療養生活支援実習	老年看護学実習Ⅱ	精神看護学実習	
受 講 者			98名	98名	98名	98名	
回 答 数			90名	88名	59名	48名	
回 答 率			91.8%	89.8%	60.2%	49.0%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4.71	4.85	4.81	4.73	4.78
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4.56	4.41	4.51	4.52	4.50
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4.66	4.60	4.64	4.58	4.62
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4.56	4.61	4.61	4.65	4.61
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4.57	4.49	4.53	4.48	4.51
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4.41	4.47	4.44	4.38	4.42
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4.26	4.41	4.49	4.44	4.40
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4.32	4.23	4.37	4.15	4.27
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4.60	4.44	4.54	4.54	4.53
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4.38	4.28	4.46	4.25	4.34
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4.58	4.15	4.46	4.42	4.40
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4.53	4.02	4.34	4.21	4.28
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4.67	4.64	4.51	4.48	4.57
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4.53	4.51	4.53	4.38	4.49
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4.56	4.45	4.51	4.44	4.49
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4.53	4.43	4.47	4.54	4.50
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	3.67	3.55	3.93	4.46	3.90
	18	実習は有意義であった。	4.58	4.45	4.58	4.52	4.53
			80.66	79.00	80.73	80.15	80.13

Ⅱ この実習を通して得たもの

新しい知識	85.56%	87.50%	84.75%	85.42%	85.80%
知的好奇心(関心)	55.56%	46.59%	47.46%	60.42%	52.51%
物事を見る視野	63.33%	44.32%	59.32%	79.17%	61.54%
課題発見・解決能力	71.11%	57.95%	69.49%	58.33%	64.22%
論理的思考能力	48.89%	34.09%	37.29%	47.92%	42.05%
記述・表現・プレゼンテーション能力	30.00%	29.55%	30.51%	35.42%	31.37%
教員や学生との交流	64.44%	67.05%	61.02%	56.25%	62.19%
看護の実践能力	67.78%	59.09%	55.93%	37.50%	55.08%
医療者・専門職者としての態度	53.33%	36.36%	55.93%	47.92%	48.39%
看護倫理に基づいた行動	52.22%	31.82%	61.02%	43.75%	47.20%
その他	1.11%	1.14%	0.00%	2.08%	1.08%

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			2 学年次	2 学年次	2 学年次	2 学年次	平均
学 期			後学期	後学期	後学期	後学期	
科 目 名			コミュニ ティ実習	母性看護学 実習 I	小児看護学 実習 I	老年看護学 実習	
受 講 者			104名	99名	99名	100名	
回 答 数			56名	53名	49名	74名	
回 答 率			53. 8%	53. 5%	49. 5%	74. 0%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4. 70	4. 66	4. 78	4. 70	4. 71
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4. 55	4. 51	4. 57	4. 38	4. 50
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4. 59	4. 62	4. 69	4. 47	4. 59
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4. 50	4. 64	4. 57	4. 41	4. 53
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4. 61	4. 64	4. 63	4. 57	4. 61
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4. 25	4. 43	4. 61	4. 35	4. 41
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4. 20	4. 42	4. 63	4. 28	4. 38
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4. 05	4. 34	4. 51	4. 26	4. 29
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4. 32	4. 72	4. 73	4. 47	4. 56
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4. 43	4. 51	4. 57	4. 31	4. 46
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4. 45	4. 55	4. 69	4. 38	4. 52
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4. 25	4. 43	4. 49	4. 41	4. 39
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4. 55	4. 38	4. 51	4. 61	4. 51
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4. 48	4. 58	4. 67	4. 45	4. 55
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4. 36	4. 57	4. 61	4. 47	4. 50
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4. 25	4. 53	4. 47	4. 30	4. 39
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4. 39	4. 15	4. 45	3. 97	4. 24
	18	実習は有意義であった。	4. 34	4. 62	4. 71	4. 36	4. 51
			79. 27	81. 30	82. 92	79. 15	80. 66

Ⅱ この実習を通して得たもの

新しい知識	71. 43%	77. 36%	75. 51%	79. 73%	76. 01%
知的好奇心(関心)	58. 93%	77. 36%	73. 47%	45. 95%	63. 93%
物事を見る視野	46. 43%	56. 60%	65. 31%	58. 11%	56. 61%
課題発見・解決能力	46. 43%	49. 06%	44. 90%	52. 70%	48. 27%
論理的思考能力	28. 57%	24. 53%	28. 57%	31. 08%	28. 19%
記述・表現・プレゼンテーション能力	28. 57%	30. 19%	22. 45%	29. 73%	27. 73%
教員や学生との交流	41. 07%	35. 85%	28. 57%	48. 65%	38. 54%
看護の実践能力	23. 21%	24. 53%	20. 41%	24. 32%	23. 12%
医療者・専門職者としての態度	16. 07%	41. 51%	18. 37%	36. 49%	28. 11%
看護倫理に基づいた行動	25. 00%	41. 51%	30. 61%	40. 54%	34. 42%
その他	0. 00%	0. 00%	0. 00%	1. 35%	0. 34%

授業評価アンケート結果(実習科目)

学 年			1 学年次	平均
学 期			後学期	
科 目 名			基礎看護学 実習 I	
受 講 者			103名	
回 答 数			73名	
回 答 率			70.9%	
学 生 の 自 己 評 価	1	実習に積極的に出席した。	4.89	4.89
	2	実習の事前学習・振り返りに意欲的に取り組んだ。	4.86	4.86
	3	実習には自主的に取り組んだ。	4.88	4.88
	4	記録物・提出物の提出期限を守った。	4.89	4.89
	5	看護倫理に基づいた行動をとった。	4.73	4.73
実 習 方 法 ・ 内 容 へ の 評 価	6	実習オリエンテーションは実習に役立った。	4.58	4.58
	7	実習要項は自分の学習を進める上で役に立った。	4.70	4.70
	8	成績評価の基準について明確な説明があった。	4.63	4.63
	9	実習内容は看護への興味や関心を深めるものであった。	4.85	4.85
	10	実習は学生の理解度に応じて進められていた。	4.73	4.73
	11	教員は学生の主体性を尊重していた。	4.73	4.73
	12	教員から効果的な指導を受けることができた。	4.77	4.77
	13	臨床指導者から効果的な指導を受けることができた。	4.90	4.90
	14	実習場所は実習に適した環境であった。	4.82	4.82
	15	授業で学んだ内容が実習によってより深く理解できた。	4.77	4.77
	16	実習を通して今後の課題が明確になった。	4.82	4.82
	17	実習に関する記録物・提出物等の量は適切であった。	4.51	4.51
	18	実習は有意義であった。	4.81	4.81
			85.85	85.85

Ⅱ この実習を通して得たもの

新しい知識	83.56%	83.56%
知的好奇心(関心)	71.23%	71.23%
物事を見る視野	65.75%	65.75%
課題発見・解決能力	72.60%	72.60%
論理的思考能力	38.36%	38.36%
記述・表現・プレゼンテーション能力	41.10%	41.10%
教員や学生との交流	67.12%	67.12%
看護の実践能力	65.75%	65.75%
医療者・専門職者としての態度	65.75%	65.75%
看護倫理に基づいた行動	49.32%	49.32%
その他	1.37%	1.37%